

令和7年度（論理国語）シラバス

教 科	国語	科 目	論理国語		
単 位 数	2	学 年	3	類 型	文理共通
教 科 書	論理国語（大修館書店）				
学習目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的、批判的、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	・コミュニケーションの手段 ・自己と他者 ・環境へのまなざし	・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握できるようにする。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈できるようにする。
2 学期	・政治と社会 ・大学入試問題演習Ⅰ	・学習課題に沿って、筆者の問題意識を把握し、対比的な概念や具体例の意図を押さえつつ、粘り強く筆者の主張をとらえることができるようにする。 ・マークセンス式問題に対する実践力を身に付けられるようにする。
3 学期	・大学入試問題演習Ⅱ	・大学入試問題に対する実践力を身に付けられるようにする。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	・定期考査 ・小テスト
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類をふまえ、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。	・定期考査 ・小テスト ・発表内容等
主体的に学習に取り組む態度	学習課題に沿って、具体例と分析・考察の関係を意識しつつ、粘り強く筆者の主張を押さえようとしている。また、学習活動に取り組む中で、自らの課題を把握し、その克服に努めようとしている。	・授業に取り組む態度 ・授業における発言 ・ノートや課題等における記述 ・自己評価